平成 30 年度 第 1 回

丹波市有償運送運営協議会

議 事 録

閱覧用

1 開催日時 平成 31 年 3 月 11 日 (月) 午後 3 時 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者 (委員)

長田 貴	会長	大野 亮祐	副会長
本間 和典	委員	中澤 秀明	委員
足立 安夫	委員	中辻 剛	委員
中川 武	委員 [代理]	吉本 道明	委員 [代理]
石田 光	委員	永井 正伸	委員
藤浦 俊行	委員	片山 一浩	委員
北川 博巳	委員	太田 嘉宏	委員

委員 14 名出席

(オブザーバー) 正垣 あおい

(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰男

4 欠席者 畠 宏一郎 委員 山田 吉晴 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

(1) 公共交通空白地有償運送 軽微な事項の変更の届出等

○特定非営利活動法人 鴨庄 「鴨庄ふれあいバス」

①車両更新に係る届出書類

②運行経路変更に係る届出書類

(2) 福祉有償運送 業務廃止の届出等

○社会福祉法人 みつみ福祉会

①業務廃止に係る届出書類

4) そ の 他

5) 閉 会

(事務局長)

只今から平成30年度第1回の丹波市有償運送運営協議会を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして有難うございます。

本日は、丹波市身体障害者福祉協議会 会長の塩谷泰久様の代理として、副会長の中川武様に、神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門 首席運輸企画専門官の岩野住之様の代理として、神戸運輸監理部総務企画部企画調整官の吉本道明様にご出席頂いております。

また、柏原神姫タクシー(株) 会長 畠宏一郎様、社会福祉法人丹波市社会福祉協議会 事務局長 山田吉晴様につきましては、事前に欠席の連絡を受けております。

それでは以降の進行につきましては会長にお願い致します。

(会長)

有償運送運営協議会を始めさせていただきます。本日は、報告事項が2点ありますので、できるだけ効率的に進めたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

福祉有償運送の基本的な対象者は、高齢者分野、障害者分野で身体的あるいは精神的な面で認定を受けている方々です。その中には公共交通が使える方も多くおられますが、対象者の中でも公共交通が使えない方をしっかりと補完するために、福祉の有償運送が存在しています。丹波市ではこれまでも移送・輸送手段の事業が行われていますが、今後はより効果的に統合しながら、利用者の個別ニーズへの対応が可能な利用しやすい福祉的な移送事業を具体的に検討していく必要性を感じております。

また、先程の公共交通会議で話があった認知症の方々への対応については、移動事業も見守り体制の一つであるということが言えると思います。ですので、福祉のシステムと公共交通のシステムがうまく繋がっていかないと、安心して暮らせるまちづくりがなかなか実現できないのかなと思っています。本日はそういう話の視点で進めて参りますので、よろしくお願ひします。

それでは、報告事項に入らせて頂きます。まずは、特定非営利活動法人 鴨庄「鴨庄ふれあいバス」の公共交通空白地有償運送 軽微な事項の変更の届出等に係る協議です。事務局の方から説明をお願いします。

[特定非営利活動法人 鴨庄「鴨庄ふれあいバス」 公共交通空白地有償運送
軽微な事項の変更の届出等について説明 別紙1～9]

(会長)

有難うございました。運行経路の変更と車両の更新の対応ですね。鴨庄から来られている委員の方から現状の運行状況等の説明をお願いしてよろしいですか。

(委員)

平成21年にNPO法人の認可を頂き、鴨庄でふれあいバスを運行させて頂いて10年経ちました。10年経ちますと車両も消耗しますし周りの環境も変わります。先程説明があつ

たように、軽微な変更ということで、9月に車両の更新、1月に運行経路の変更をさせて頂きました。運行経路変更の経緯については、鴨庄地区には食料品を扱う店舗がなく、吉見地区の三ツ丸ストアというスーパーに行かれる利用者の割合が高かったのですが、1月にそのスーパーが閉店になり、別の店舗に行けるようにしないと生活に困る状況になるということで、同じく吉見地区のジャパンという店舗が利用できる運行経路に変更することを届出させて頂いたというところです。

利用者数については、29年度は年間で1,600人程ですが、本年度は2月末で1,340人と減少しております。毎月、月・水・金の月12回程の運行回数や走行距離は同じ位なのに、特に1月2月の利用者数の減少が著しく、2月の利用者は49名でした。行き慣れたスーパーの閉店もありましたし、店舗等へのご利用が少なくなったということも考えられます。

そのような苦しい状況ですが、運転手については、毎年ではないですが募集すれば応募がありますので、講習を受けて認可して頂いて、人数的には沢山の運転手がおります。地区の中では比較的若い60代位の運転手が多く、ひと月に1回位の運転をしております。

過疎地の中にあっても運行を継続していかないといけないということで、周りの環境や状況を踏まえて、今後もやっていきたいと思っております。

また、私どものふれあいバスにつきましては、警察の認可を頂いて、青いランプを付けて見回りをする青パト（防犯パトロール）として、PTAが週に1回子どもの学校の行き帰りの見回りをしたり、防犯グループが月に3回程の予定で地区を見回る防犯活動にも利用させて頂いております。

以上のような現状ですが、10年経って惰性的にやっていると、利用者が減って継続が難しくなるようなことも考えられます。1日に12~13人の利用がないと採算が合わないということなので、現在、経費ばかり掛かる事態が起きつつあります。補助金等も頂いておりますし、またいろいろな面でお世話になると思っておりますけれども、利用が増えるように活を入れてやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

（会長）

有難うございました。しっかりと地域を支えた事業展開をされていると思っております。私がかかわっている他の地域では、運転手の確保が難しく利用者が減っていくという状況の中で、事業を廃止する所も少なくないです。その中でも、運転手の確保、地域の変化への対応を含めて、しっかりと事業展開をされていることに関しては非常にうれしく思います。書類に関しては、手元の資料の通り一式揃っております。ご覧になられた中で何か確認やご質問がありましたらお願いします。よろしいですか。

では、ご意見等がないようですので、特定非営利活動法人 鴨庄「鴨庄ふれあいバス」 公共交通空白地有償運送に係る軽微な事項の変更の届出等については、本運営協議会としては、確認という事でよろしいでしょうか。

<異議なし>

（会長）

有難うございました。本件については、確認済と致します。

では次に、社会福祉法人 みつみ福祉会の福祉有償運送 業務廃止の届出等について、事務局の方から説明をお願いします。

[社会福祉法人 みつみ福祉会 福祉有償運送 業務廃止の届出等について説明
資料 1～5]

(会長)

有難うございました。資料 1 に明記されている通り、業務廃止の理由は、訪問介護員の人材確保が難しくなり、人員不足により事業の継続が困難になったために有償運送事業を廃止したいということですね。そして資料 2 には、今までみつみ福祉会の有償運送を利用されていた方々の、廃止後の交通手段が書かれています。今後どのような交通手段等をご利用になるのかが非常に大事な訳ですが、公共交通機関や家族の送迎、市の事業のおでかけサポート等に引き継がれたことを、私も事前に確認をさせて頂いております。登録者の方々がそれぞれ漏れることなく対応が出来るというように確認しております。今まで事業展開をされていた所が無くなるのは個人的にも非常に寂しい思いです。地域の方々のバックアップ的な移動手段の一つが無くなるということなので、これからより一層システムチックな輸送手段の充実が望まれると思います。

その他の書類等も見て頂いて、何か確認や質問がありましたらお願いします。

(委員)

業務廃止の理由が訪問介護員の人材不足ということですが、これはこの会社特有の事情なのか、地域の事情なのか、それとも全般的に起こり得る大きな問題なのでしょう。

(事務局)

障がい福祉課です。福祉分野の人材そのものが不足している現状で、市としてもその人材を出来るだけ確保するように、各分野に向けた様々な補助施策や支援事業を展開しているところです。みつみ福祉会については、成人対象の入所施設を二つ、子ども対象の入所施設を一つ、グループホームも多数、また就労継続支援 B 型事業所と数多くの事業所を抱えておられる中で、人材のやりくりが困難であった事がこの部分に顕著に現れてきたと理解をしております。

福祉分野の人材が不足していることについて、高齢者施設や認定こども園等の人材を確保するために、市を挙げて事業を展開しているところです。

(会長)

有難うございました。訪問介護員というのは一般的にヘルパーと言われている介護職の方方で、訪問介護や施設での介護がありますが、人員を募集してもなかなか多くは集まらないというのが全体的な傾向です。その理由としては、労力に見合った対価が得にくいということがあり、以前から大きな課題であると言われております。

そして、有償運送の傾向としては、運転手の人員不足があり、こちらも全国的な共通課題かもしれません。先程、業務廃止に至った要因が事業所独自の事情なのか、地域特性なのか、それとも全国的な問題なのかという質問がありましたが、有償運送がこれからも継続してやっていけるのかという質問でもあると思います。全国的には、発展的に事業をしていこうとしても、人員不足等の要因でなかなか思うようにはいかず、非常に厳しい状況であると言えます。とはいえ、福祉分野で働いている我々が前向きにしっかりと活動して、我々だけでどうしようもないようなところは、公的な事業なので国の方に提示をするという流れが必要になると思うので、各地域でそのことを考えるのも大事だと思います。

他に何かありますか。

(委員)

資料 2 の利用者の廃止後の交通手段には、おでかけサポート介助者同乗予定という代替手段が多く記載されており、市からの補助があると聞きましたが、おでかけサポート事業とは具体的にどのようなものですか。

(会長)

障がい福祉課の方から説明をお願いします。

(事務局)

お出かけサポート事業は、軽自動車、普通自動車等を利用した移動サービスで、障害福祉施策の地域生活支援事業という国の補助事業を活用したものです。委託先の丹波市社会福祉協議会が事業運営をしており、基本的には、ドアツードアでマンツーマンの対応で、利用者宅から予約票に基づいた行先へ送迎をするという形です。対象者は、身体障害者手帳の 1 種 1 級から 4 級をお持ちの方、いわゆる介助の必要な方、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、要介護 3 から 5 に該当する方に限定しており、尚且つ個人の市民税非課税の方となっております。料金は無料で移動範囲は丹波市内に限ります。

ただし、この制度については見直しをしているところで、現段階ではまだ概要について申し上げられませんが、無料で市内どこでも移動が出来る今のシステムをこのまま実施していくには市の負担がかなりあり、今後は見直しの必要があるということで、現在制度の見直しを検討しております。

(会長)

事業説明としてはこれでよろしいですね。発展的な制度の見直しが望まれますが、今の説明にあったのは制度上の条件で、身体機能的、能力的な状況をどう判断していくかというところがあまりないので、制度上の条件を踏まえながら、本当に必要な人が効果的に利用できるようなシステムにするという課題があると思います。お出かけサポート事業が無くなる訳ではなくて、発展的な見直しをしている最中であるということですね。

他に何かありますか。

(委員)

廃止後の交通手段でグループホーム職員による送迎とあるのは、みつみ福祉会のグループホームということですか。

(事務局)

みつみ福祉会はグループホームの運営をされているので、おそらくみつみ福祉会のグループホームでの送迎かと思われます。

(委員)

資料を見ると、グループホーム職員による送迎というのが沢山ありますので、ここに有償運送を引き継がないのかなとふと思いましたので。

(会長)

形を少し変えればまたできるのではないかということだと思いましたが、いずれにしても事業全体の事として、有償運送の利用者の方々の廃止後の交通手段をどうにかして対応しないといけないという状況の中で、組織内での可能な対応だと思います。

他に何かありますか。

(委員)

事業廃止という一つの事実があって、その中でその後どうするかが大事だと思います。一度振り返って確認したいのが、買い物か施設送迎か、何を主目的とした移動なのかです。業務廃止となった状況の検証を含めて、その辺りをもう一度振り返り確認したいのですが、どういう目的の移動が多かったのでしょうか。

(事務局)

資料2に書いてありますが、みつみ学苑の福祉有償運送は通院介助と買い物等の日常生活の移動支援を目的としていました。代替移動手段のおでかけサポート事業については、通院は利用回数が無制限なので、今のこの制度が続く限りは、おそらくグループホームに住まれている方も対象となりますので、通院にはまず問題なくご利用頂けるかなと思います。そして、日常生活の移動支援については月4回の制限がありますが、週1回程度は買い物等にも出かけられる状態になりますので、こちらもご利用頂けるかなと思います。

また、グループホームから就労継続支援B型事業所に行かれる場合は、B型事業所自体の送迎を使うことができますので、それらもフルに活用しながら移動支援をされているのかなと思います。

(委員)

要は今ある手段をフルに使って対応するという訳ですね。

(会長)

有難うございました。今のご質問は、移動は手段であって、福祉面では個別性があるので、

地域生活の個別のニーズに対して充足したものであるか、維持され発展する制度になっているかという視点で検討できているのかということだと思いますが、その点も大丈夫ということでしょうか。

これから、おでかけサポート事業を見直し充実していくうえでも、そのような視点を踏まえて考えることが非常に大事ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

他にご意見等ありますか。

では、他にご意見等がないようですので、社会福祉法人みつみ福祉会 福祉有償運送業務廃止の届出等については、本運営協議会としては、確認という事でよろしいでしょうか。

<異議なし>

(会長)

有難うございました。本件については、確認済と致します。

では、次第4のその他について、何かありましたらお願ひします。

(事務局)

事務局からお願ひを申し上げます。次回の運営協議会の開催は来年度になると思ひますが、この3月で委員の皆様2年の任期が満了となります。これにつきましては再任を妨げないという規定があります。市としてはこれから特に福祉による移動支援策の見直しという大きな課題もありますので、皆様方には大変ご苦勞をお掛け致しますが、来年度も引き続き、お力添えを頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

また、新年度にあたり各組織の役員改選等がありましたら、事務局までご報告を頂きますようお願ひ致します。

(会長)

有難うございました。委員の再任についてはどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

では、その他に委員の皆さんから報告等がありましたらお願ひします。よろしいですか。

それではこれで閉会となりますので、最後に副会長から一言ご挨拶頂きたいと思ひます。

(副会長)

先程の地域公共交通会議に引き続きまして、長時間慎重にご議論を頂きまして有難うございました。以上をもちまして閉会とさせていただきます。有難うございました。